

記念交流会



8月1日、海上保安友の会稚内支部設立10周年、海上保安制度創設60周年及び巡視船つがるの稚内港入港を記念して、地元関係機関及び友の会会員を招いての交流会を実施しました。交流会では、来賓の方々から祝辞を頂いたほか、アトラクションとして職員による海上保安庁制服ファッションショーを行なうなど、参加者からは大きな歓声を受け、大いに盛り上がりました。



巡視船つがる一般公開

8月2日、稚内港天北1号埠頭にてヘリコプター搭載型巡視船つがる(函館保安部所属)の一般公開を実施しました。当初予定していた体験航海が荒天のため中止となりましたが、430名の市民が見学に訪れました。一般公開ではミス流水が一日船長として任命され、乗船者へのPR活動に活躍していただきました。また、巡視船つがる船内では、船橋(船を操縦するところ)や船室等の公開、格納庫ではヘリコプターの展示が行なわれたほか、海上保安庁制服試着コーナーやグッズ販売等も行なわれました。途中、付近をパトロール中の千歳基地航空機MA86(えとぴりか)が上空を飛行したり、巡視艇きたかぜによるカラー放水等が行なわれ、一般公開を盛り上げました。

巡視船れぶんイルミネーション

8月3日「稚内みなと南極まつり」の締めを飾る大花火大会が稚内港で開催され、当部では花火大会に合わせ、「巡視船れぶん」のイルミネーションを行い、光輝くイルミネーションが巡視船れぶんの船形を形取り、市民の目を楽しませました。



安全指導

8月7日、稚内港において、地方から稚内管内に操業に来ているいか釣漁船に対し、運航前点検徹底、漏電防止等の安全指導を実施しました。



稚内灯台 ★ 夜間一般公開

8月8日稚内市「シャップ岬」にある稚内灯台の夜間一般公開を実施しました。見学に訪れた224名の市民は158段の階段を上り、40メートルを超える灯台の頂部からの眺めを楽しんでいました。



海難防止講習「青空教室」の開催

8月23日、枝幸郡浜頓別町頓別漁港内において、当部職員及び北海道漁船海難防止・水難救済センター職員が講師となり、プレジャーボート愛好者等に対する海難防止講習「青空教室」が行なわれました。



同講習会では当部職員が実際に海に入り、海中転落した際の対処方法、防水型携帯電話を使用した連絡方法、小型船からの海中転落時の救助方法等を実演し、より実践的な講習が行なわれました。